

平成26年度 第1回 大学運営連絡会議事要旨

日 時 平成26年4月8日（火） 10時30分～11時25分

場 所 大学本部2階大会議室

出席者 学長，瀬口理事，中島理事，岩本理事，宮崎理事，佐々木監事，甲斐文化教育学部長，平地経済学部長，藤本医学部長，石橋工学系研究科長，渡邊農学部長，諸泉全学教育機構副機構長，富田附属図書館長，早川総合分析実験センター長，事務局長

陪席者 北村監事，大島学長補佐

- 学長から，前回の大学運営連絡会議事要旨の確認依頼があった。
- 学長から，4月1日付けの新しく構成員となった者の紹介及び事務局長から，同日付で着任した幹部事務職員の紹介があった。

【 報告・連絡事項 】

(1) 大学改革実行プランへの対応について（ミッションの再定義関連）

企画評価課長から，本件について現状説明後，平成26年3月末文部科学省からの最終確認に回答し，3月31日付文部科学省から公表された「分野ごとの振興の観点」について報告があった。それぞれ各分野のとりまとめがなされ，国立大学改革プランの追加資料とされていること，医療・保健分野は最終調整中である旨，説明があった。また，5月16日に文部科学省において「国立大学法人の機能強化等に関する意見交換」が行われるため，学長のリーダーシップ発揮をさらに高める特別措置の予算について学部の意見を聞くこととしている旨の発言があった。

(2) 第2期中期目標期間の教育研究の状況についての評価に係る「評価作業マニュアル（案）」等に関する意見募集の実施について

企画評価課長から，本件について，独立行政法人大学評価・学位授与機構が意見を募集しているため，4月23日を締め切りとして，大学運営連絡会構成員に対し，4月4日付で意見募集の依頼を行った旨の報告があった。また，マニュアル改定（案）の資料は抜粋版であり，全文はホームページ「学内会議資料」に別冊として掲載していること，各学部・研究科の現況調査表が教育研究等の質の向上の達成状況に関する評価につながるため必ず目を通していただきたい旨の説明があった。

次いで、学長から、第2期の評価で第3期の予算が決まる、全学を挙げて実績を上げ、評価室と連携を図りながらアピールするものはする、将来的には大学ポートレートにより国民に公表することがベースになる旨の発言があった。

(3) 平成25年度第16回及び第17回拡大役員懇談会における議論の概要について

学長から、3月5日及び3月19日に開催された拡大役員懇談会の議論の内容について、その概要の報告があった。

(4) 経費削減状況の報告について

財務課長から、本件について、「佐賀大学における経費削減にかかる行動指針」を策定し、それに基づき、各部局にて、経費削減計画を立て目標削減率の達成に向けた取組を実施していただいているところであるが、今回は、今年度2月までの実績額について、その増減をまとめた旨の説明があり、来月には今年度の達成状況を検証し、平成26年度の計画に反映する旨の説明があった。

(5) 平成27年度概算要求事項（施設整備費補助金及び施設費交付事業費）について

中島理事から、本件について、背景及び施策等として、中期目標・中期計画（第2期）及び第3次国立大学法人等施設整備5か年計画についての説明があった。次に、平成26年度施設整備予算案の状況及び平成27年度概算要求における基本的方針について説明があり、附属病院の再整備（継続事業）、耐震性が低い等安全上支障がある施設の優先的整備、老朽施設の機能改善、先端的研究基盤の整備である旨の説明があった。また、平成27年度施設整備費要求事項（案）について、3月6日開催の施設マネジメント委員会において審議・決定された旨と今後のスケジュールについて報告があった。また、概算要求事項等の詳細については環境施設部長より説明があった。

(6) 美術館の募金状況等について

教務課長から、4月4日現在の美術館設置事業の募金状況について、教職員、個人・学外、法人・団体など寄附者の内訳、金額及び募金率等の報告と、今後とも各部局等において協力いただきたい旨の依頼があった。学長から、今後は募金状況だけではなく利用状況の報告も行うよう発言があった。

(7) 平成26年度入学者数について

入試課長から、本件について、資料に基づき説明があった。志願者数につ

いては475名減であるが、昨年の理工学部の志願者数から少し落ち込んで
はいるが、24年度に比べると堅調に推移していること、また、研究科で充足
率に満たない専攻科は秋季入学で90～100%を目指していただきたい、
さらに、今年度初の取り組みとして、入学手続き忘れ防止と進路変更先を調
査するため、入学意思確認を実施した旨、報告があった。

次いで、学長から、志願倍率2倍以下の学部がなく良かった、辞退者アン
ケートを分析し、できるだけ辞退者が少なくなるようにしていただきたい、
5月から高校訪問を行うので、部局長も1回は参加してほしい旨の発言があ
った。

(8) 平成25年度就職状況について（4月1日現在）

就職支援課長から、本件について、昨年度と同時期での比較説明があり、
学部で3.6ポイント増、大学院で1.1ポイント減、総計で2.5ポイン
ト増であった旨、また、机上配布資料として、就職希望未定者リストが配布さ
れ、今後も追跡を行う旨の説明があった。学長から、就職率Bで90%を目標
にし、学部学科毎に90%以下の場合はヒアリングを行う予定である旨、ま
た、公務員・教員の再受験の学生へのフォローをお願いしたい旨の発言があ
った。

(9) 「地（知）の拠点整備事業」にかかるアンケートについて

五十嵐教授から文部科学省提出の全教職員アンケートへの協力依頼があ
った。

(10) その他

特になし。

【 各学部等からの報告・連絡事項 】

特になし。

【 その他 】

特になし。

以 上